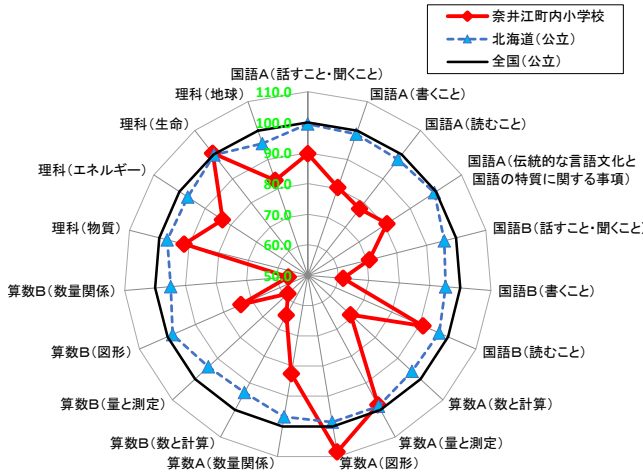


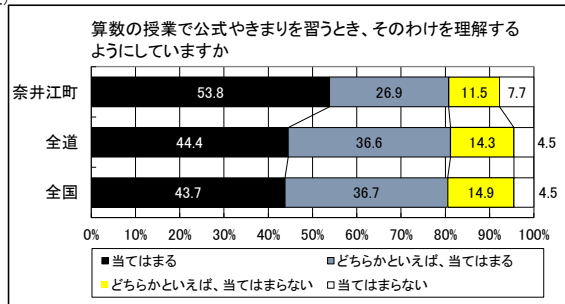
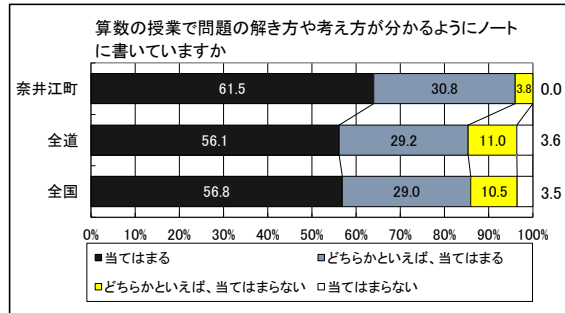
■ 奈井江町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:27人)

【教科全体の状況】

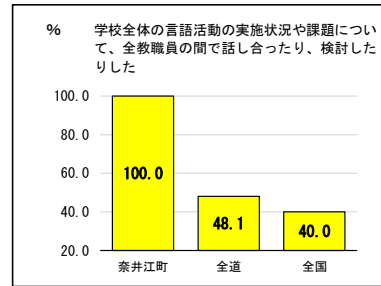
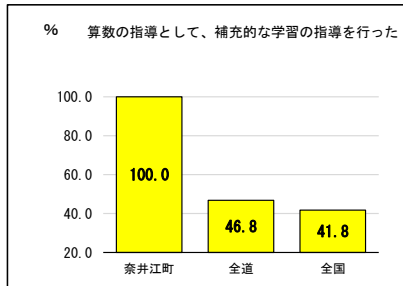
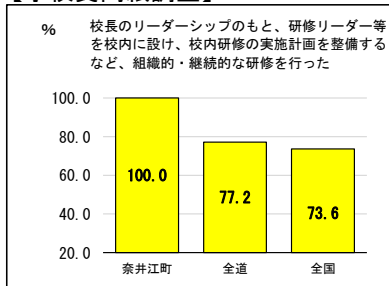
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、組織的・継続的な研修を行った結果、日常の授業改善が図られ、算数Aの「図形」、理科の「生命」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った結果、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的・継続的な研修を行った。 ○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行った。 ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした結果、算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

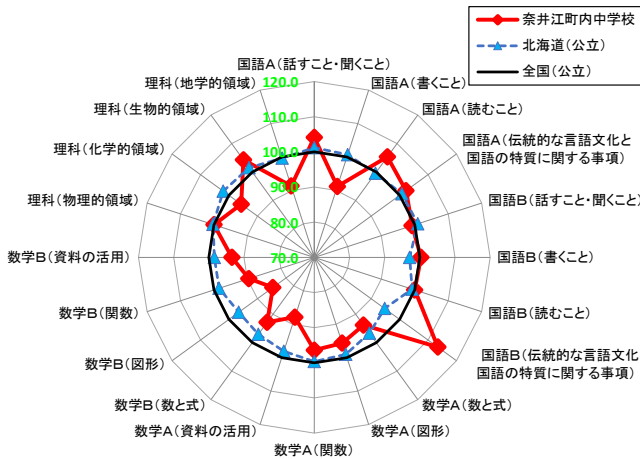
【奈井江町の学力向上策】

- ◎ 町教育振興会の「パワーアップ委員会」による全国学力・学習状況調査の分析
- ◎ 教職員の資質向上に向けた先進地視察の実施
- ◎ 小・中学校で統一した学習規律の徹底
- ◎ 小学校の35人学級による、きめ細やかな指導の充実
- ◎ 家庭学習の定着に向けた小学校への支援員等の配置及び放課後における学習支援を実施
- ◎ 小・中学校漢字検定料の助成
- ◎ 「小中高教育の連携に関する連絡協議会」における、相互の乗り入れ授業の検討及び実施
- ◎ 町図書館司書と学校図書担当教諭による読書活動の支援
- ◎ 外国語指導助手を活用した、小学校低学年の英語教室の開催
- ◎ 小学生を対象とした「子ども朝活事業」の実施及び「生活リズムチェックシート」の活用

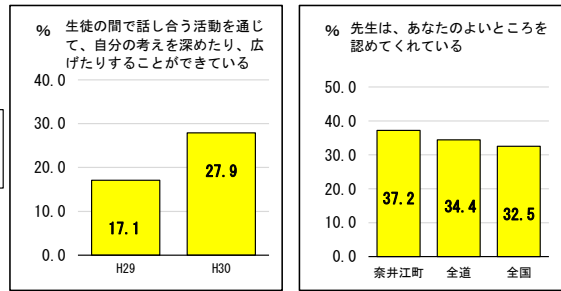
■ 奈井江町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:43人)

【教科全体の状況】

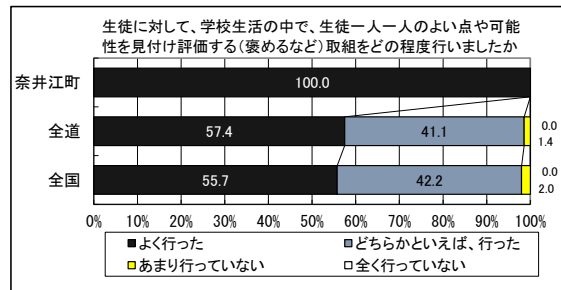
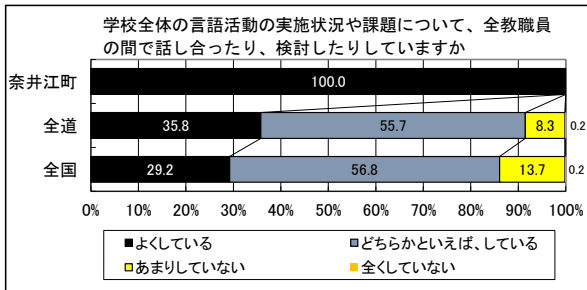
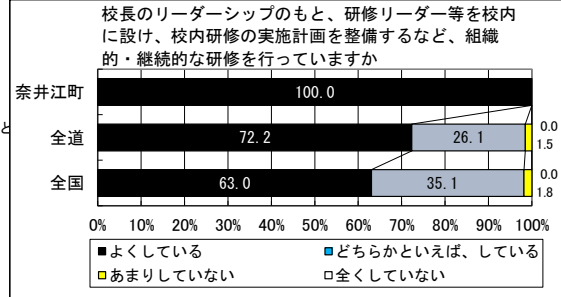
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物的領域」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、組織的・継続的な研修を行った結果、国語Aで全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、前年度と比較して増えている。 ○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした結果、自分の考えを深めたり、広げたりした生徒の割合が、前年度と比較して増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的・継続的な研修を行っている。 ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている。 ○ 生徒に対して、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組を行った結果、生徒は、先生が自分のよいところを認めてくれていると感じるなど自尊感情が高まったと考えられる。

【奈井江町の学力向上策】

- ◎ 町教育振興会の「パワーアップ委員会」による全国学力・学習状況調査の分析
- ◎ 教職員の資質向上に向けた先進地視察の実施
- ◎ 小・中学校で統一した学習規律の徹底
- ◎ 家庭学習の定着と学力向上に向けた「公設学習塾」の開設
- ◎ 小・中学校漢字検定料の助成
- ◎ 「小中高教育の連携に関する連絡協議会」における、相互の乗り入れ授業の検討及び実施
- ◎ 町図書館司書と学校図書担当教諭による読書活動及び図書室を活用した学習環境整備への支援
- ◎ 中学生を対象とした英語検定料を助成